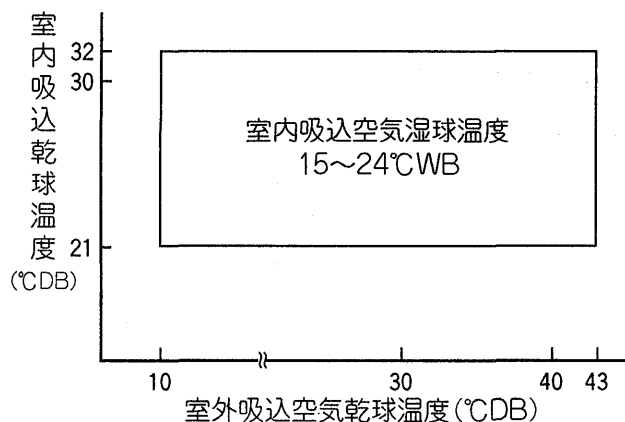


6. 製品データ

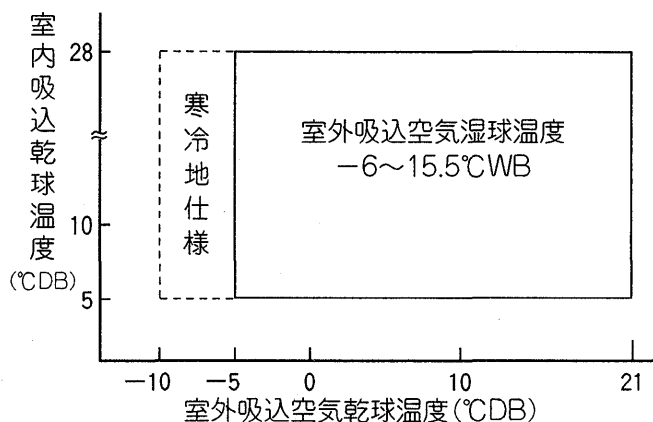
1. 冷房・暖房使用温度範囲

以下の条件以外で運転しますと不具合が生じたり、保護装置が働き運転ができなくなる場合があります。

冷房



暖房

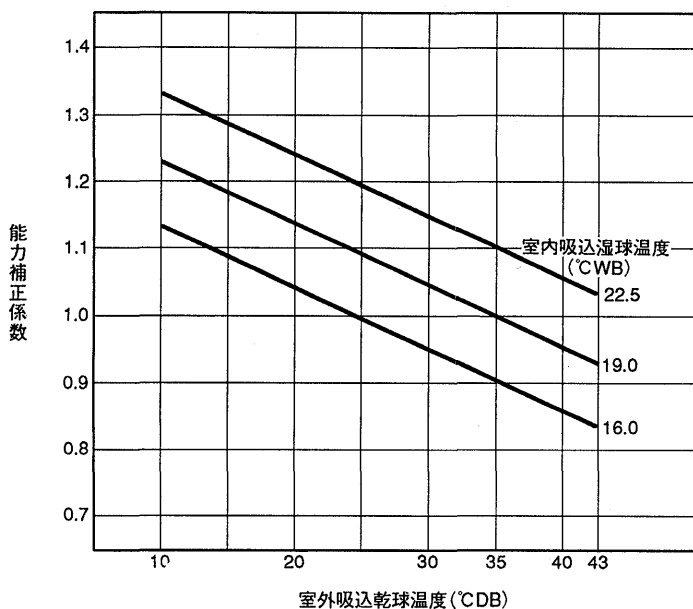


2. 冷房・暖房能力補正

1) 空気条件変化による能力補正

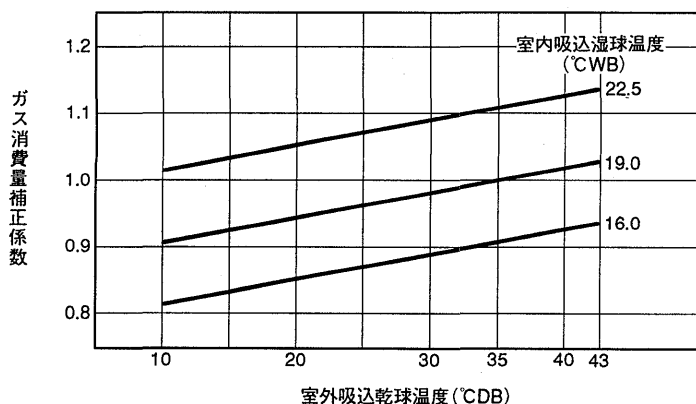
冷房、暖房能力特性はJIS B 8616の条件における値を示しています。したがって、運転条件が異なる場合は以下の補正を行なってください。

冷房



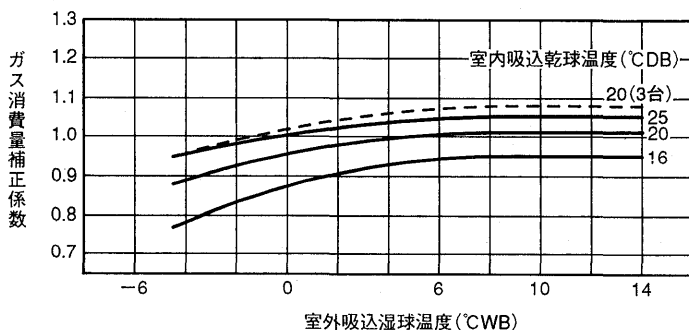
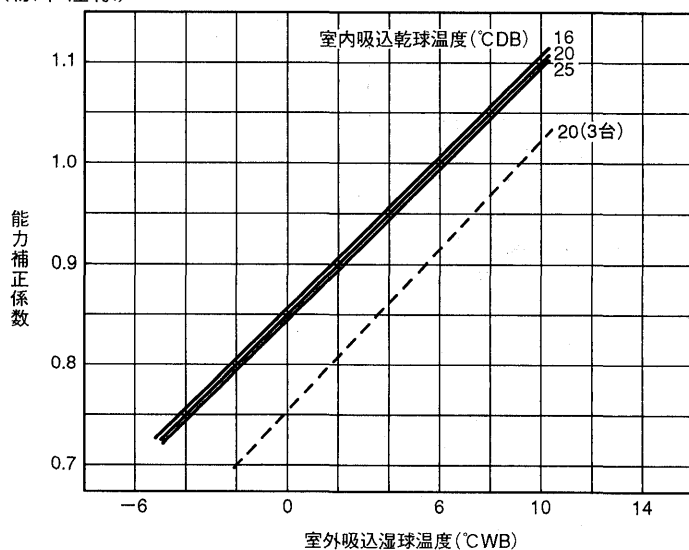
JIS B 8616条件
室内 27°CDB 19°CWB
室外 35°CDB

(運転条件
・室内ユニットJ36形 4台
・エンジン回転数 2,500rpm)



暖房

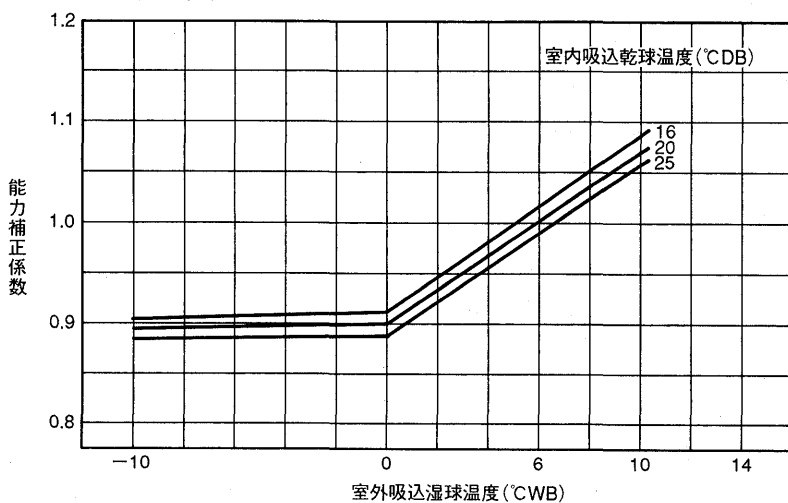
(標準仕様)



JIS B 8616条件
室内 20°CDB
室外 7°CDB 6°CWB

(運転条件
• 室内ユニットJ36形 4台
• エンジン回転数 2,500rpm)

(寒冷地・塩害寒冷地仕様)



JIS B 8616条件
室内 20°CDB
室外 7°CDB 6°CWB

(運転条件
• 室内ユニットJ36形 3台
• エンジン回転数 2,500rpm)

※寒冷地・塩害寒冷地仕様で室内ユニット3台設置時の能力は9.7kWを1.0として補正してください。
ガス消費量は0.38m³N/h(LPG)、1.83m³N/h(6B, 6C)を1.0として補正してください。

